

科学事業に携わるボランティア団体

かわさき宙と緑の科学館では、事前申込制のサイエンス教室や当日参加可能なサイエンスワークショップ等、様々なイベントを開催しています。多くのイベントで、市民ボランティアが講師を担当して、実験や工作を教えています。科学分野の他に、自然や天文事業も、様々な市民活動によって支えられています。

- ・NPO 法人科学実験教室サポーター・くじら
http://kujirascience.web.fc2.com
- ・かわさきアトム工房
https://kawasaki.genki365.net/G0000339/
- ・サイエンス・ちゃれんじ・チーム
k-katsube@jcom.home.ne.jp
- ・チーム・コスモス
f.hiro3@oc.jful.jp
- ・トラボクラブ
amikake_1tasu1wa1@yahoo.co.jp

(団体名五十音順・団体HPまたは連絡先)



もとは生田緑地に暮らす平凡な小鳥でしたが、あるきっかけから妖怪になってしまいました…。緑地内のいきもの(とりたまの仲間)を持ち帰ろうとする人を見つけたら、頭のライトが光ります。仲間が迷子になってしまったら、行方を探して迎えに来てくれます。実はとてもやさしい心の持ち主です。



生田緑地ポストカード
バラの新作
8アイテムが
加わりました!

新しいバラのポストカードを、みなさんはもうご覧になりましたか?今回はプリンセスアイコ、ブルームーンなど8種類のバラが登場しました。生田緑地ばら苑は、バラの種類が多いのが魅力。春の開苑が楽しみです。1枚140円(税込み)東口ビジターセンターや生田緑地内のミュージアムショップで販売しています。「寒中見舞い」にもどうぞ。

みんなで守ろう
生田緑地の
ルール

生田緑地のルールを子どもたちに伝える
ニューヒーローを紹介します。
園内で見かけたら、応援よろしくをお願いします。

キャラクター
紹介!

とりたま

体の大きな、心やさしい妖怪

(全長:215cm)

もりのにじの感想や
メッセージをお待ちしています!

宛先は東口ビジターセンターまで。Webからも投稿できます。
https://ws.formzu.net/fgen/S64660348/



アクセス

- 【東口へ…】小田急線「向ヶ丘遊園」駅南口より
・徒歩13分
・市バス(満19)おし沼経由「溝の口駅南口」行き
・市バス・東急バス(た83)「たまプラーザ駅」行き
「生田緑地入口」下車徒歩3分
- 【西口へ…】小田急線「向ヶ丘遊園」駅北口より
・小田急バス(向10)「専修大学前」行き終点下車徒歩5分
(伝統工芸館へはこちらが便利です)
- 【とんもり谷戸へ…】JR南武線「武蔵溝ノ口」駅南口より
・市バス(満10、11、17、18)「初山」下車徒歩5分

お問い合わせ

お願い

ご来園の際には、マスク着用にご協力ください。
公園の屋外で他の方と距離が保てる場合は、マスクは不要です。

東口ビジターセンター TEL 044-933-2300 FAX 044-933-2055

〒214-0032 川崎市多摩区枋形 7-1-4
https://www.ikutaryokuti.jp/

指定管理者 生田緑地共同事業体

川崎市立日本民家園 TEL 044-922-2181
かわさき宙と緑の科学館 TEL 044-922-4731
川崎市岡本太郎美術館 TEL 044-900-9898



公式ホームページ



公式Twitter

人×自然
生田緑地 フリーマガジン

もりの
にじ

Morinoniji



2023
冬号

Take free

お知らせ

最新情報はホームページを
ご覧ください。

https://www.ikutaryokuti.jp/



生田緑地のミュージアムから、この冬のおすすめ

新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、開館・開園状況やイベント開催内容が変更となる場合がございます。

岡本太郎美術館

https://www.taromuseum.jp

現在、「母の塔」前広場の防水工事等の
ため休館していますが、
2023年2月1日(水)から再開いたします。

企画展

「第26回岡本太郎現代芸術賞
(TARO賞)」

今年で26回目を迎える本賞では、595点の
応募があり、創造性あふれる23名の作家が
入選を果たしました。21世紀における芸術の
新しい可能性を探る、意欲的な作品をご覧
ください。

2023年2月18日(土)～4月16日(日)



第25回岡本太郎賞
吉元れい花
(The thread is Eros,
It's Love!) 2022年

常設展

「岡本太郎とにらめっこ」

2023年2月1日(水)～4月16日(日)

- ・時 間 9:30～17:00(最終入館16:30)
- ・場 所 岡本太郎美術館
- ・料 金 要観覧料 *中学生以下は無料

かわさき宙と緑の科学館

https://www.nature-kawasaki.jp

下記期間は特別投影スケジュールとなります。
詳しくは科学館HPでご確認ください。
2022年12月27日(火)～28日(水)
2023年1月4日(水)～6日(金)
2023年3月28日(火)～31日(金)

プラネタリウム投影

本物の夜空で体験するような空気感を解説員
の生解説でお楽しみください。

一般向け投影(約45分:生解説)

- 12月「惑星を追いかけて」
- 1月「暦ができるまで」
- 2月「宵の明星・金星」
- 3月「メシエ天体の世界」

子ども向け投影

- (約35分:生解説+アニメーション)
- 12月「流れ星みつけた!」
- 1月～2月「ももんがさんとおぼしさまじゅーす」
- 3月～4月「おたんじょうびの星座」

フュージョン投影

- (約45分:生解説+フュージョン)
- 「過去と未来への旅」

投影時間などは科学館HPをご覧ください。



日本民家園

https://www.nihonminkaen.jp

企画展「東北の手仕事」わら

東北の気候風土が生んだ手仕事を2期に分けて
ご紹介いたします。第1期は寒冷地ならではの多彩な
わら製品を展示します。

2023年1月4日(水)～5月28日(日)

- ・時 間 9:30～16:30
(3月からは17:00まで)
- ・場 所 日本民家園 本館企画展示室
- ・料 金 入園料のみ



バンドリ(荷を担ぐ際の背巾であて、
山形県鶴岡市)



ヒョウタン
(小正月の飾り、
岩手県紫波町)

鳥に会いに行こう！

生田緑地は市街地に近接していながら野鳥の宝庫です。今回は、生田緑地でよくみられる鳥と、鳥にちなんだトピックスをご紹介します。**ナラ枯れや工事により園路の一部が封鎖されている場合があります。詳しくはHPをご覧ください。**

1. 歩きやすい靴、脱ぎ着しやすい服装で、カメラと双眼鏡を持って歩いてみませんか？ 双眼鏡の倍率は最初は8倍程度がおすすめです。
2. 朝や夕暮れ前には、鳥が餌探しに夢中になっているので、観察するのにおすすめです！

日本民家園 にわとり 鶏を飼う道具



トリカゴ/
工藤家資料
ひよこを入れて
飼育していた
カゴ。

実際にはこのカゴを伏せて使いました。鶏は、一説には「庭にいる鳥」という意味の言葉が語源であるといわれています。かつては民家の庭（家の前）で鶏が放し飼いをされているのをよく見かけたものでした。多くの農家では卵をとるために鶏を飼っていましたが、時には鶏肉を食べることもありましたが、その機会は少なく、ごちそうとしてとらえられていたようです。（トリカゴは、工藤家の床上公開日にご覧いただけます。）

かわさき宙と緑の科学館 生田緑地ギャラリー



野鳥を観察される皆様、ぜひ科学館へお越しください。館内の生田緑地ギャラリーでは緑地内で見られる生き物のはく製を展示しています。普段は見つらい野鳥の足の形や羽の模様も間近で観察できますよ！

季節のおすすめ情報

枅形山展望台



ダイヤモンド富士

枅形山展望台から、年に2回の観測チャンスがあるダイヤモンド富士。富士山山頂に日が落ちる瞬間に「沈むダイヤ」を見に来ませんか？（雲や大気の状態によって、見えない場合もあります。）

- 時 間 2023年2月8日(水)17:01頃/2月9日(木)17:01頃
- 場 所 枅形山展望台

岡本太郎美術館

webサイト



TAROバースデーコンサート

岡本太郎は1911年2月26日生まれ。112歳の誕生日を祝うバースデーコンサートを開催します。打楽器奏者の上原な江さんによる素敵な演奏をお楽しみください。

2023年2月26日(日)

- 時 間 開場13:30 開演14:00
- 場 所 岡本太郎美術館ギャラリースペース
- 料 金 無料（椅子席は要観覧券）
- 定 員 椅子席は35名まで
- 申込み 電話受付（2月3日(金)10:00から受付開始）先着順



「蘇るVR太陽の塔 Ver.5」

1970年、大阪万博で岡本太郎が担当した《太陽の塔》は、彼の代表作として知られ、現在でも多くの人びとに親しまれています。今回のイベントは日本工業大学学生が再現した当時の《太陽の塔》をVRで観覧するものです。蘇った《太陽の塔》を体感してみませんか？

2023年3月4日(土)/3月5日(日)

- 場 所 岡本太郎美術館ガイダンスホール
- 料 金 無料

*イベントの詳細は美術館HPをご確認ください。



かわさき宙と緑の科学館

webサイト



サイエンスワークショップ

子どもから大人まで楽しめる、サイエンスをテーマにした簡単な実験や工作を行います。所要時間は10～15分、開催時間内であればどなたでも参加できます。

毎週土曜日、2023年1月9日(月・祝)

- 時 間 12:30～14:30 *整理券配布11:30～
- 場 所 かわさき宙と緑の科学館 2F 学習室
- 料 金 無料



日本民家園

webサイト



伝統工芸館ミニ展示「桃の節供」

ひな祭りにちなんだ図柄の藍染め作品や、ひな人形などを展示します。

2023年1月25日(水)～3月3日(金)

- お問い合わせ先 伝統工芸館 TEL.044-900-1101



生田緑地

map



生田緑地でよく見られる鳥

ビジターセンターにもよってみられる鳥の音声をまわっています。



ほんの一部

岡本太郎美術館 夢の鳥 (1977)

岡本太郎は、人びとの生活に芸術がより身近なものになるよう、様々な日用品をデザインしました。「夢の鳥」は、鳥の形をしたポット。白地に鮮やかな青や赤で太郎さんらしい独自の模様が描かれています。ポットとセットにカップやエッグスタンド等もデザインし、生活が明るくなるようなプロダクトを数々生み出しました。（「夢の鳥」は常設展示室にてご覧いただけます。）

梅園で会いましょう

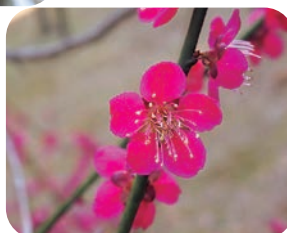
例年2月中旬から3月初めは梅の見頃です。鳥にちなんだ名前の梅も見つけてみてくださいね。



鴛鴦（エンオウ）
実が二つずつつくため、夫婦仲の良いとされるオシドリに由来します。別名「夫婦梅」。

紅千鳥（ベニチドリ）

雄しべの先に小さい旗弁が出やすく、これを千鳥にたとえてこの名が生まれたようです。



鳥は鳥でも植物の ウグイスカグラ



鳥の名前のついた植物です。ウグイスが神楽を舞うように実を食べることに由来しています。花期3～4月。果期4～5月。



シジュウカラ

「ツビツピ」「ジジジ」など数種類の鳴き方をするシジュウカラ。生田緑地はもちろん、街の林部でもよく見かける鳥です。

ほぼスズメと同じくらいの大きさで、オレンジ色の胸にグレーの羽、黒いカツラが目印のヤマガラも緑地じゅうで見かけます。リズムを刻むように「ツーピピ！ツーピピ！」と力強く鳴きます。



ヤマガラ



コジュケイ

ハトを少し丸っこくしたようなフォルムで、柄はウズラに青い前掛けを着せたような感じ。実際なかなかそうは聞こえませんが「チョツと来い！チョツと来い！」とけたたましく鳴くので知られています。メタセコイアの林の周辺のやぶによく出没します。

緑地で耳をすますと、コンコンコンと木をつつく音がします。アオゲラ、コゲラ、ヤマゲラなど「〇〇ゲラ」という名前はキツツキであるという意味です。昔お寺の柱などをよくつつく（古い木の中にいる虫を食べるため）ことで「寺つつき」と呼ばれたのがだんだん「ゲラ」になったそうです。



アオゲラ